



校長室の窓から

座間市立東原小学校（電話253-3145）

東原小キャラクター「かめっち」

今年度は、4年ぶりに全校での運動会を開催しました。全学年が互いの演技を見合うことができたことは大きな意味があったと思います。そして、係活動に一生懸命取り組む5・6年生の姿が光っていました。保護者の皆様、地域の皆様、早朝からの応援をありがとうございました。1学期もまとめの時期に入っていきます。最後まで気持ちを引き締め、充実した教育活動を進めていきたいと思っています。



登校班について

私が昨年度1年間勤務していた綾瀬市の小学校には登校班がなく、自由登校でした。登校班については、メリットとデメリットの両方があり、どちらが絶対がいい！とは言えませんが、その様子と私が感じたことをお伝えしてみたいと思います。

登校時間に大きな幅が・・・

早く登校する児童と遅く登校する児童には、大きな時間の差があります。そのため、早い児童と遅い児童は、周りにほとんど誰もいない中、登校してくることになります。「何時にどこに集合」というしぼりがないため、始業時間が過ぎてから登校してくる児童も珍しくありません。朝の支度をてきぱきするのはしんどいけれど、「みんなが待っているから間に合うように行動しよう」とすることは朝のリズムを作る上でも大切だと思いました。

1年生もしっかり安全確認

1年生も入学式の翌日からは、自分で登校することになります。感心したのは、「右見て左見てもう一度右見て」、「手を挙げて」横断歩道を渡る1年生がたくさんいることです。「はい、渡ろう。」と声をかけても、自分の目で見るまで渡らない子もいます。頼る人がいないので、自分の身を自分で守る習慣が作られると思いました。有難いことに要所要所には、毎日地域のボランティアの見守りがありました。見守りあってこそその自由登校かもしれません。

心配な保護者は？

近所の友だちや兄弟と一緒に登校する児童もいますが、1人で登校する児童もいます。4月は、1年生の保護者のかなり多くの方が毎日学校付近まで送っていました。でも、仕事などの都合で、送りたいけれど1人で送り出さざるを得ない保護者もいたと思います。ちなみに、私の場合、我が子には登校班があったので、安心して仕事に行くことができました。

地区委員の役割

学期に数回の登校の見守りがありましたが、班編成や登校班でのトラブル対応はありません。座間市では、地区委員さんの負担が大きいと感じていますが、同時に必要なことだとも思っています。地区委員さんを中心とした活動が子どもたちの安全・安心につながっています。